

# GAPを活用してより良い農業経営を目指そう！

～市原フルーツセミナーでGAP研修会を開催～

千葉農業事務所改良普及課 令和4年9月8日発

市原市は日本梨の産地です。この産地を、更に発展させていくためには、GAP手法を活用して、作業時の事故リスク低減や直売所での衛生管理の向上に取り組む必要があります。そこで、当事務所では、市原市やJA市原市と連携して、市原市内で果樹の生産と販売をする女性農業者の学習組織「市原フルーツセミナー」を対象に、GAP研修会を7月20日に開催し、6名が参加しました。

研修会では、直売所やほ場（各2か所）をJGAPアドバンス上級指導員の橋本省三氏と一緒に点検しながら、問題点や改善方法を学びました。参加者からは「作業手順を家族で話し合い、紙に書いて掲示する」、「整理・整頓を行い、鋏などは所定の場所以外に置かない」などの具体的な改善案が出されました。農業事務所では、GAP手法の定着と農業経営の改善に向けて、引き続き女性農業者の活動を支援していきます。



直売所で衛生管理などを点検



梨ほ場で事故リスクなどを点検